

takata04-system6.0

取扱説明書

ご使用前に
必ずよくお読みください。
いつでも読めるように、
大切に保管してください。

取り付けの流れ

必ずお読みください

5～11ページ

●ご使用上の注意

お子さまの体重
～10kg未満

チャイルドシートを
お車の進行方向に
対し後ろ向きに取り
付けます。



取り付け前の準備

12～16ページ

- 肩ハーネスの高さをお子さまの肩より低い位置に調整する。
- 後ろ向き用肩ハーネスカバーを使用する。

お車に取り付ける

17～19ページ

- リクライニングを2段(～9kg)または3段目(～7kg)で使用します。
- チャイルドシートをお車の進行方向に対し、後ろ向きに取り付けます。

お子さまを座らせる

20～21ページ

お子さまの体重
9～18kg未満

チャイルドシートを
お車の進行方向に
対し前向きに取り
付けます。



取り付け前の準備

22～24ページ

- 肩ハーネスの高さをお子さまの肩より高い位置に調整する。
- 前向き用肩ハーネスカバーを使用する。

お車に取り付ける

25～28ページ

- リクライニングを1段目で使用します。
- チャイルドシートをお車の進行方向に対し、前向きに取り付けます。

お子さまを座らせる

29～30ページ

目次



ご使用にあたって

次のものがそろっていますか 3

各部のなまえ 4



ご使用上の注意

マーク表示について 5

緊急時には 5

お子さまの条件 6

取り付けできるシートベルト 7

取り付けできないシート 8

取り付けできないシートベルト 9

ご使用上の注意 10

お子さまを乗せるときは 10

取り付けるときは 10

こんなことにも注意して 11



乳児用としてご使用する場合

取り付け前の準備 12

※工場出荷時は乳児用に設定されています。

肩ハーネス高さ および

カバーの確認 12

肩ハーネス高さ 12

肩ハーネスカバー 12

肩ハーネスの高さ調整・

肩ハーネスカバーの交換 13

インナークッションの取り付け 15

※工場出荷時にはすでに取り付けています。

お車のシートに

チャイルドシートを乗せる 16

チャイルドシートの固定 17

チャイルドシートの取り外し 19

お子さまの座らせ方 20



幼児用としてご使用する場合

取り付け前の準備 22

※工場出荷時は乳児用に設定されています。

肩ハーネス高さ および

カバーの確認 22

肩ハーネス高さ 22

肩ハーネスカバー 22

肩ハーネスの高さ調整・

肩ハーネスカバーの交換 23

お車のシートに

チャイルドシートを乗せる 25

チャイルドシートの固定 27

チャイルドシートの取り外し 29

お子さまの座らせ方 29



お手入れのしかた

シートカバー類の

取り外し／取り付け 31

取り外し 31

取り付け 33

各部のお手入れ 34

シートカバー類 34

インナークッション 34

本体 34

付属品の取り扱い 35

キャップ 35



保証

補修部品について 36

このチャイルドシートは、自動車事故などの際にお子さまを衝撃から守ったり、衝撃を緩和することを目的につくられた年少者用補助乗用装置です。

シートベルトを利用してお車の座席に固定してご使用ください。

しかし、チャイルドシートは自動車事故において必ずしもお子さまを無傷で守ることができるわけではありません。
チャイルドシートの確実な取り付けとともに安全運転をお願い申し上げます。



この度は、弊社のチャイルドシートをご利用いただきありがとうございます。弊社は、安全、品質の確保に細心の注意を払って製造、販売しておりますが、万一ご利用いただいております製品にリコール等がありました場合に、速やかにお客様に連絡し、修理させていただくため、同梱しておりますお客様登録カードにてご登録いただきたいと思います。



ご使用にあたって

チャイルドシートをご使用になる前に確認していただきたいことを示しています。

チャイルドシートと合わせて確認してください。

次のものがそろっていますか

ご使用になる前に、下記の商品がそろっているか、確認してください。

欠品や破損などがございましたら、ご使用にならず、お買い上げの販売店または弊社お客様相談室（☎ 0120-70-5441）までご連絡ください。

お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、チャイルドシート背面に貼っているラベルの品番、または型式ラベルに記載されている型式ナンバーを必ずお伝えください。（36 ページ参照）

■チャイルドシート本体



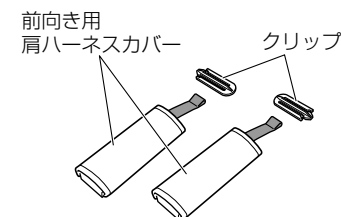
■キャップ



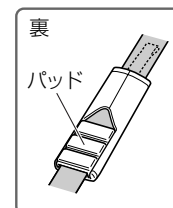
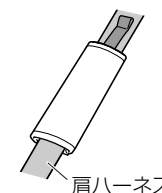
■取扱説明書



■クリップ、前向き用肩ハーネスカバー

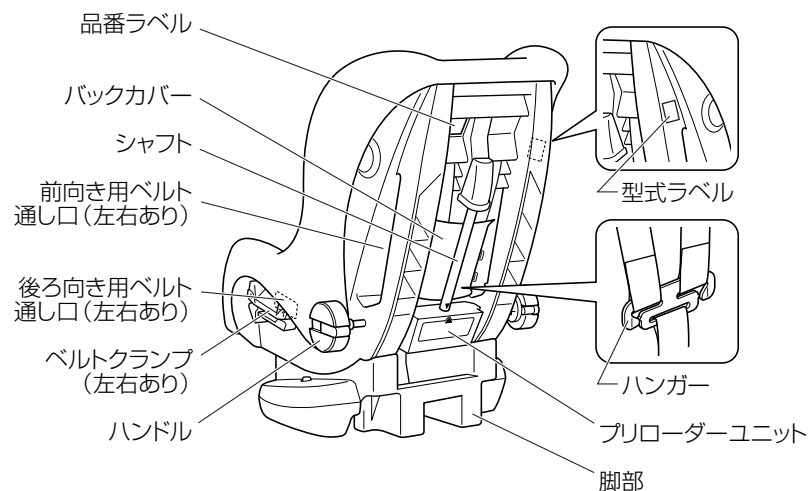
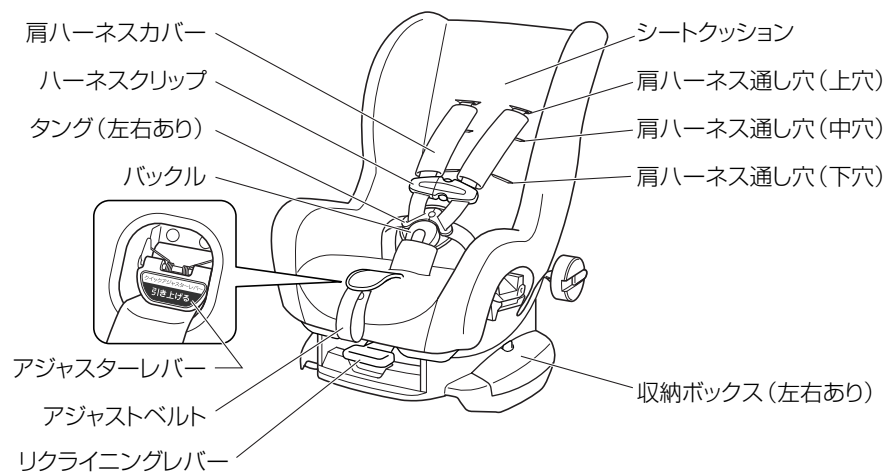


前向き用ハーネスカバーには、裏面に凸凹のパッドが付いています。



各部のなまえ

チャイルドシートと合わせて確認してください。



ご使用上の注意

チャイルドシートをご使用になる上で知っておいていただきたい知識や注意事項を示しています。

マーク表示について

この取扱説明書には、安全にご使用していただくために、特にお守りいただきたいことを、次のマークで表示しています。
これらの記載内容は重要ですので、しっかりと読みください。



取り扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を生じる可能性が想定される内容を示しています。



取り扱いを誤った場合、傷害を負う可能性がある内容、または物的損害の発生が予想される内容を示しています。



チャイルドシートをご使用になる上で守っていただきたいこと、および知っておくと便利なことを示しています。

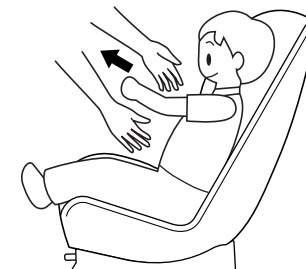
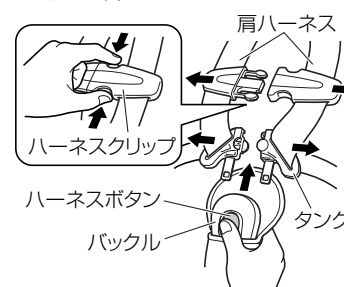


図示されている行為の禁止を示しています。

緊急時には

衝突事故などの緊急時は、あわてず次の手順で速やかにお子さまを救出してください。

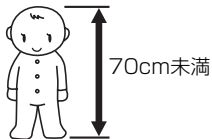
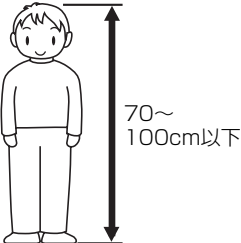
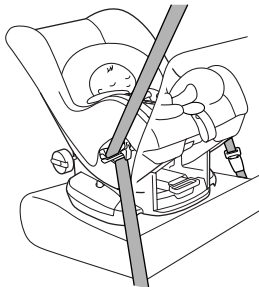
- 1 ハーネスボタンを押してバックルからタングを外し、ハーネスクリップを外して肩ハーネスを外す。
- 2 お子さまを静かにチャイルドシートから降ろす。



ハーネスボタンを押してもタングが外れない場合は、ハーネスをハサミなどで切断してお子さまを救出してください。

お子さまの条件

チャイルドシートは、お子さまの条件によって、取り付け方が異なります。
ご使用になるお子さまに合った、正しい取り扱いを行ってください。

	乳児用	幼児用
体 重	10kg未満	9～18kg未満
参考年齢※	新生児～9ヶ月頃まで	9ヶ月頃～4歳頃まで
参考身長※	 70cm未満	 70～100cm以下
取り付け方	後ろ向き 	前向き 

※年齢・身長の範囲は、おおよその目安ですのでお子さまの体重に合わせてご使用ください。

取り付けできるシートベルト

■ELR・ALR（チャイルドシート固定機構）付シートベルト

チャイルドシートを固定するための装置（ALR）が備えられているタイプ。シートベルトとして通常使用するときにはELR機能が働く。



現在、このタイプのシートベルトが主流になっています。



■ELR（緊急ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト

シートベルトをゆっくりと引き出すと自由に出し入れできるが、急に引く（急ブレーキなどで体が前に投げ出されるとき）とシートベルトがロックされ引き出せなくなるタイプ。



お車のシートベルトの種類・特徴・長さの調節のしかたなど、詳しくはお車の取扱説明書をお読みください。

■ALR（自動ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト

シートベルトを引き出している途中に手を止めると、自動的にロックされ、それ以上ベルトが引く出せない（巻き戻しは可能）タイプ。



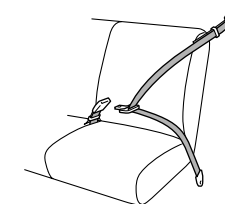
■NLR（非ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト

シートベルトのロック機構がないため、シートベルトを巻取り装置からすべて引き出し、長さを調整するタイプ。



■マニュアル式シートベルト

シートベルトの巻取り装置がなく、通常はシート側面などに固定されているタイプ。

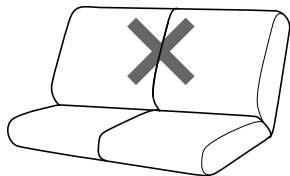


取り付けできないシート

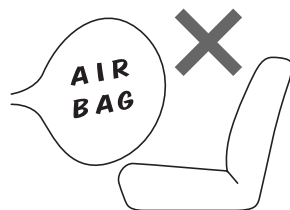


警告 お車のシートが次のタイプに該当する場合は、チャイルドシートを取り付けることができません。取り付けした場合、事故時にお子さまに加わるダメージを軽減する効果がなかったり、またお子さまや他の乗員が重大な傷害を受ける恐れがあります。

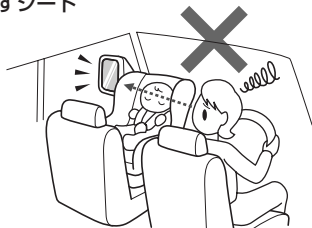
■シートベルトが付いていないシート



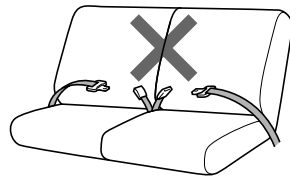
■フロントルエアバッグが付いているシート



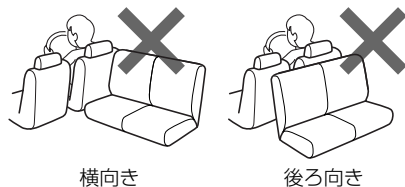
■チャイルドシートを装着すると運転に支障をきたすシート



■2点式シートベルトが付いているシート



■横向き・後ろ向きになっているシート



■9ページ、シートベルトのタイプで「取り付けできないシートベルト」の付いているシート



お取り付けに際しましては、お取り付けになるお車の取扱説明書もあわせてご確認ください。

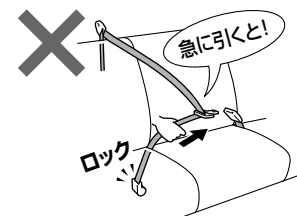
取り付けできないシートベルト



警告 お車のシートベルトが次のタイプに該当する場合は、チャイルドシートを取り付けることができません。

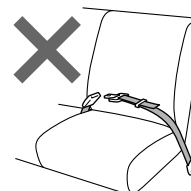
■腰ベルト側に付いたELR（緊急ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト

シートベルトをゆっくりと引き出すと自由に出し入れできるが、急に引く（急ブレーキなどで体が前に投げ出されるとき）とシートベルトがロックされ引き出せなくなるタイプ。



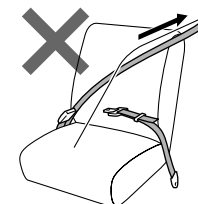
■2点式シートベルト

肩ベルトがなく腰ベルトの2点で固定するタイプ。



■パッシブシートベルト

シートに座りドアを閉め、エンジンキーをONにすると肩ベルトが自動で装着するタイプ。腰ベルトは手動。ベルトを外すときは、ドアを開けるかエンジンキーをOFFにする。（運転席のみ）



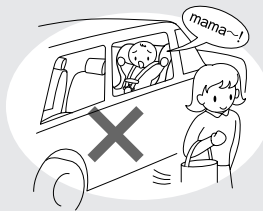
■その他のシートベルト

7ページ「取り付けできるシートベルト」に記載されていないシートベルト。

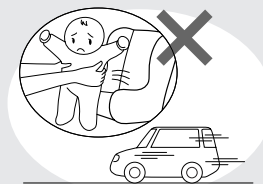
ご使用上の注意

お子さまを乗せるときは

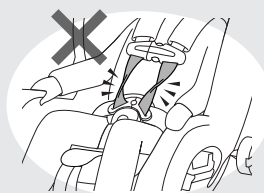
- 警告** ● お子さまをチャイルドシートに座らせたままお車から離れないでください。不慮の事故につながるおそれがあります。



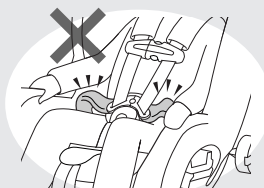
- 警告** ● 走行中は、お子さまをチャイルドシートから乗り降りさせないでください。



- 警告** ● ハーネスは、ねじれないようにお子さまの身体にあわせて調整してください。



- 警告** ● 腰ハーネスで骨盤がしっかりと拘束されるように必ず腰ベルトを低く下げて着用させてください。腹部に腰ハーネスがかかっていると、事故等の時に圧迫されるおそれがあります。



取り付けるときは

- 警告** ● 拘束性能に影響を与えるおそれがあるため、柔軟材料（専用カバー類、ベルト類・発泡材料等）を取り外したり、専用品以外に取り換えて使用しないでください。



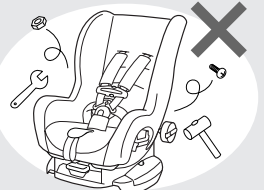
- 警告** ● チャイルドシートのハーネスを刃物等の鋭利なもので傷つけないでください。切れていたりすると、チャイルドシートが正常な働きをしない場合があります。



- 警告** ● チャイルドシートを車両に固定するシートベルトに緩みや、ねじれないようにしてください。チャイルドシートにガタツキが生じます。

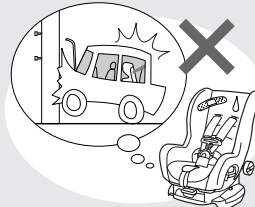


- 警告** ● 取扱説明書に記載された以上の分解や構成部品を取り外した状態での使用および指定以外の物との交換は絶対にしないでください。



こんなことにも注意して

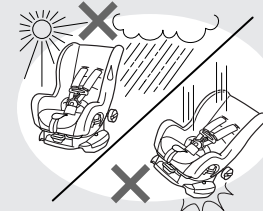
- 警告** ● 事故等でチャイルドシートが強い衝撃を受けた場合には、目に見えない破損があるおそれがあるので、新品に交換してください。



- 警告** ● チャイルドシートのロック部分（バックル等）には、精密な部品が組み込まれていますので、水やジュース等をかけないでください。部品の故障原因になります。

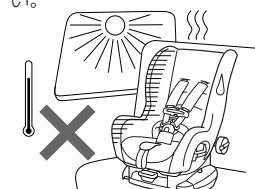


- 警告** ● チャイルドシートを保管する時には、強い衝撃を与えたり、長期間屋外に放置しないでください。

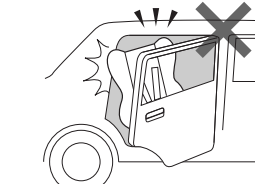


- 警告** ● お子さまを長時間チャイルドシートに座らせる場合は、定期的な様子を確認し、休憩をとってください。

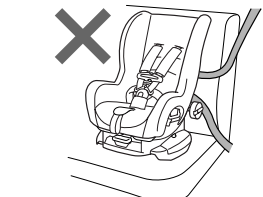
- 注意** ● チャイルドシートに日光が当たりますと、熱くなることがあります。大人が金属部分や樹脂部分に触れて熱さの程度を確認し、お子さまがやけどをするおそれのないことを確認の上、ご使用ください。



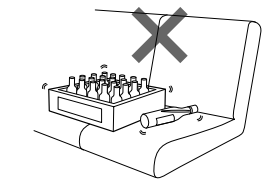
- 注意** ● 可動式シートまたは車両のドアにチャイルドシートの剛性部分（プラスチック部分等）が挟まれないようにしてチャイルドシートを取り付けてください。



- 注意** ● チャイルドシートにお子さまを乗せない時でも、安全のため車のシートベルトで必ず固定してください。衝突や急ブレーキの際にチャイルドシートが移動して、ケガなどをするおそれがあります。



- 注意** ● 事故発生時、乗員に傷害を与えるような物をお車の中に放置しないでください。万一の時、お子さまや乗員に当たるおそれがあり、危険です。





乳児用としてご使用する場合

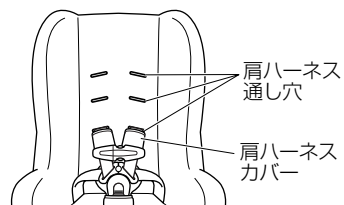
チャイルドシートを後ろ向き（体重 10kg 未満のお子さま）で使用する場合の取り付け、取り外しの方法を示しています。

取り付け前の準備

※工場出荷時は乳児用に設定されています。

肩ハーネス高さ および カバーの確認

お子さまの肩の位置に合わせ、肩ハーネス通し穴の位置を調整し、肩ハーネスカバーを使用する必要があります。

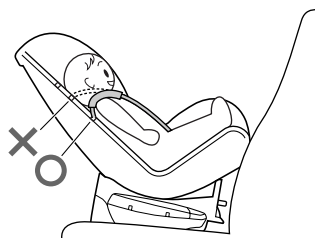


- 肩ハーネス通し穴の位置を確認する時は、チャイルドシートを正しい取り付け角度にし、お子さまを座らせた状態で行ってください。
- 後ろ向き（体重 10kg 未満）の場合、チャイルドシートの取り付け角度につきましては、「お車のシートにチャイルドシートを乗せる」（16 ページ）をご参照ください。
- お子さまの座らせ方につきましては、「お子さまの座らせ方」（20 ページ）をご参照ください。

肩ハーネス通し穴の位置が合っていない場合、また正しい肩ハーネスカバーが取り付けしていない場合は、「肩ハーネスの高さ調整・肩ハーネスカバーの交換」（13 ページ）をご参照し、正しく調整してください。

肩ハーネス高さ

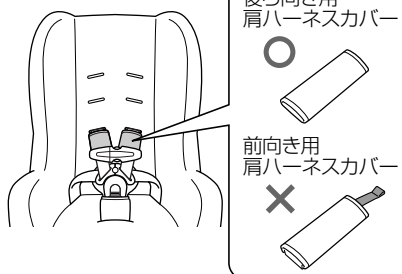
肩ハーネス通し穴がお子さまの肩より低い位置。



肩ハーネス高さは必ず正しい位置でしてください。
不適切な位置で使用すると、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

肩ハーネスカバー

後ろ向き用肩ハーネスカバーが付いていることを確認する。



正しい肩ハーネスカバーを使用しないと、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

取り付け前の準備

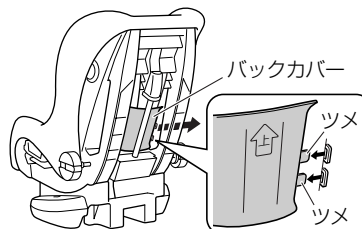
肩ハーネスの高さ調整・肩ハーネスカバーの交換

- 1 アジャスターレバーを引き上げながら、肩ハーネスをすべて引き出す。

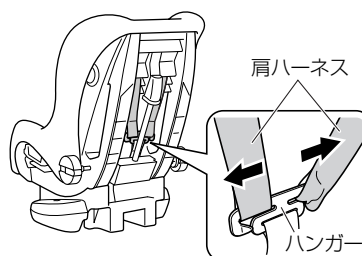


肩ハーネスを引き出す際には、肩ハーネスカバーではなく、肩ハーネスを引っ張り、引き出してください。
肩ハーネスカバーを引っ張っても、引き出せない場合があります。

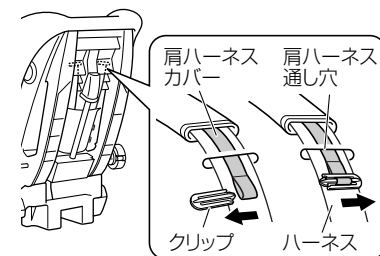
- 2 チャイルドシート背面のバックカバーを取り外す。



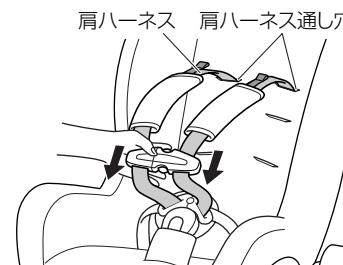
- 3 肩ハーネスをハンガーから外す。



＜前向き用カバーを使用している場合のみ＞
肩ハーネスカバーを固定しているクリップを外す。



- 4 肩ハーネス通し穴から肩ハーネスを抜き取る。



- 5 肩ハーネスに後ろ向き用肩ハーネスカバーを取り付ける。



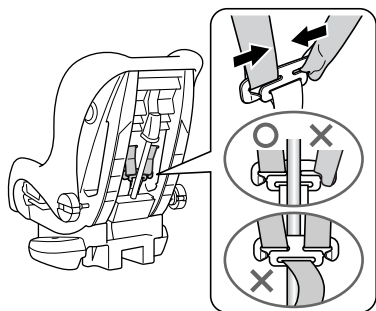
取り付け前の準備

肩ハーネスの高さ調整・肩ハーネスカバーの交換

- 6 肩ハーネスを適切なハーネス穴に差し込む。



- 7 肩ハーネスをハンガーに取り付ける。

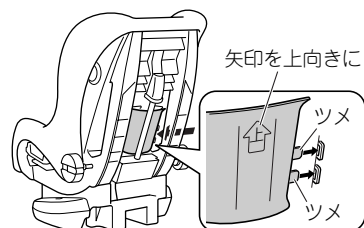


- 肩ハーネスがねじれていないことを確認してください。
- 肩ハーネスをハンガーに正しく取り付けしていないと、衝突時にハーネスが抜け、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シャフトの手前側で肩ハーネスをハンガーに取り付けしないでください。



直射日光が当たって、シャフトやハンガーが熱くなることがあります。やけどのおそれがありますので、ご使用時には、十分注意してください。

- 8 バックカバーを取り付ける。



バックカバーのツメが本体に確実に固定されていないと、事故時に十分な機能を発揮しないおそれがあります。

インナークッションの取り付け ※工場出荷時にはすでに取り付けられています。

インナークッションは、お子さまの体重が7kg未満（参考年齢6ヶ月未満）の場合にご使用になれます。



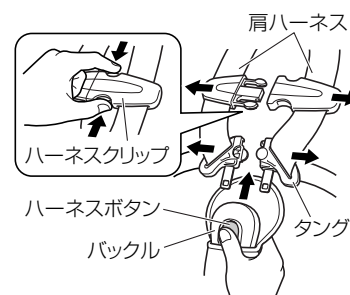
7kg以上の体重のお子さまがご使用になると、事故時に十分な機能を発揮しないおそれがあります。

- 1 アジャスターレバーを引き上げながら、肩ハーネスを引き出す。



肩ハーネスを引き出す際には、肩ハーネスカバーではなく、肩ハーネスを引っ張り、引き出してください。肩ハーネスカバーを引っ張っても、引き出せない場合があります。

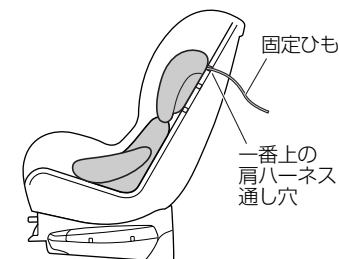
- 2 ハーネスボタンを押してバックルからタングを外し、ハーネスクリップを外して肩ハーネスを左右に広げる。



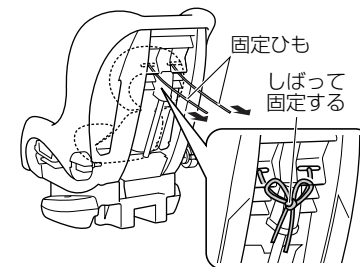
- 3 シートの形状に合わせ、インナークッションを置く。



- 4 インナークッションの固定ヒモを、1番上の肩ハーネス通し穴に通す。



- 5 インナークッションをシートに密着させ、固定ヒモを結んで固定する。

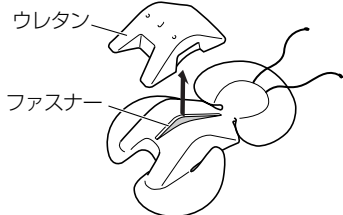


確実に固定しないと、事故時に十分な機能を発揮しないおそれがあります。

取り付け前の準備

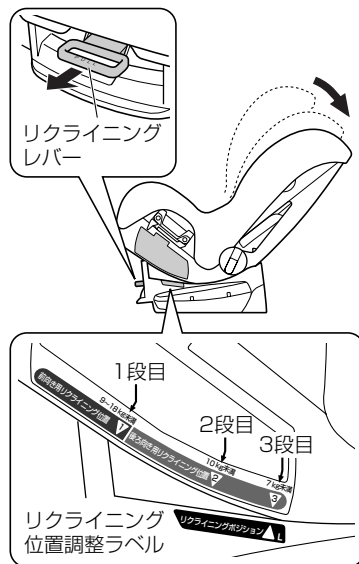
インナークッションの取り付け

アドバイス お子さまの体格によりインナークッションが窮屈な場合は、座面のウレタンを取り外してご使用ください。



お車のシートにチャイルドシートを乗せる

- 1 リクライニングレバーを引きながら、リクライニング位置をお子さまの体重に合わせ（下表参照）、後ろ向き用（2、3段目）にセットする。



リクライニング使用位置

リクライニング 段数	お子さまの体重	
	7kg 未満	7～10kg 未満
1 段目	×	×
2 段目	○	○
3 段目	○	×



リクライニングレバーが戻らない場合はリクライニング位置に正しくセットされていない状態です。チャイルドシートを軽く前後に動かし、リクライニングレバーがロックされていることを確認してください。



- リクライニング位置がロックされていないと、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。
- お子さまの体重が7～10kg 未満で3段目を使用したり、前向きリクライニング位置（1 段目）で使用すると、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

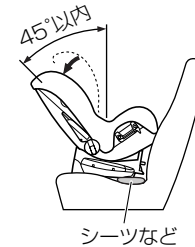
- 2 チャイルドシートの最前部がお車のシートバックにぴったりと付くように、チャイルドシートを置く。



チャイルドシートとシートにすき間があると、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。



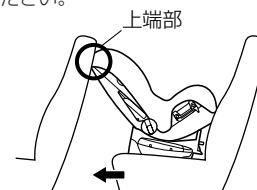
お車のシート形状によりチャイルドシートが起きあがる場合があります。その場合はシートなど堅めの詰め物を入れ、チャイルドシートを少しおししてください。ただし、その場合チャイルドシートの背もたれの角度は45° 以内になるように注意してください。



45° 以上になると、チャイルドシート本来の機能を果たさず、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。



- シートが前後にスライドできる場合は、シートをスライドさせ、チャイルドシートの上端部を前席シートバックに当ててください。



- シートをスライドさせても、前席シートバックに当たらない場合は、後席シートを最後端にスライドさせておいてください。

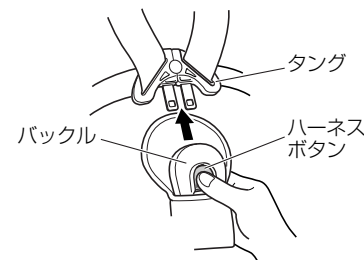
チャイルドシートの固定



チャイルドシートを固定するシートベルトは、緩みやねじれのないようにしてください。チャイルドシートにガタツキが生じ、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

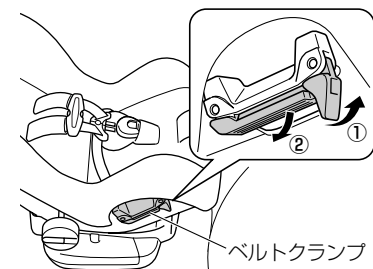
1

ハーネスボタンを押してバックルからタングを外す。



2

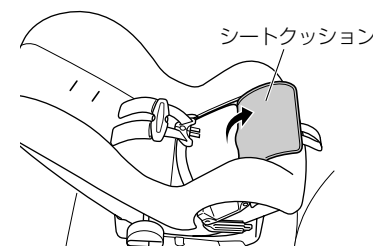
ベルトクランプのレバーを外す。



ベルトクランプはチャイルドシートの両側についていますが、初めにシートベルトを通す側（お車のバックルと反対側）のみ使用します。

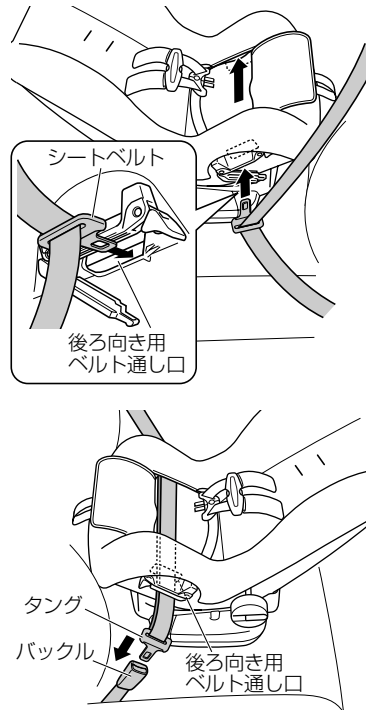
3

シートクッションをめくる。



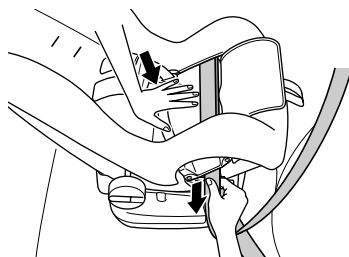
チャイルドシートの固定

- 4 シートベルトを後ろ向き用ベルト通し口に通す。
反対側の後ろ向き用ベルト通し口からシートベルトを引き出し、タングをバックルに差し込む。

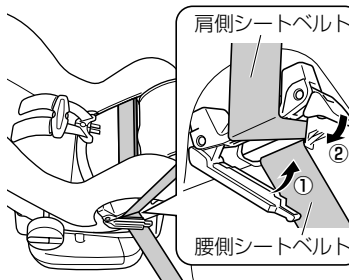


ベルト通し口以外にシートベルトを通さないでください。他の個所を使用すると、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 5 チャイルドシートを押し付けながら、上側のシートベルトを引っ張る。



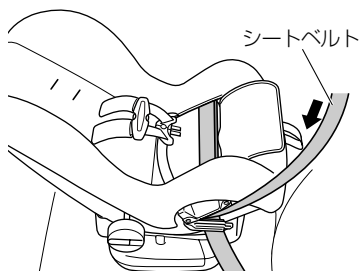
- 6 肩側シートベルトのみベルトクランプにはさみ、レバーをロックする。



ベルトクランプはチャイルドシートの両側についていますが、初めにシートベルトを通す側（お車のバックルと反対側）のみ使用します。

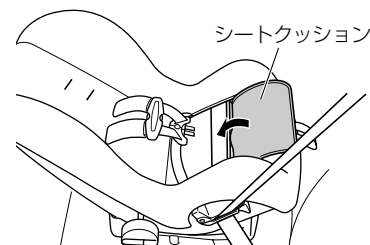
＜ALR 機能が付いたお車の場合＞

シートベルトを全量引き出し、チャイルドシート固定機能（ALR機能）に切り替える。

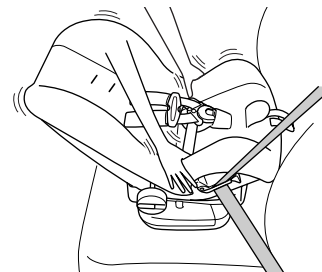


チャイルドシート固定機能（ALR機能）の詳しい取り扱いについては、お車の取扱説明書をご参照ください。

- 7 シートクッションを元に戻す。



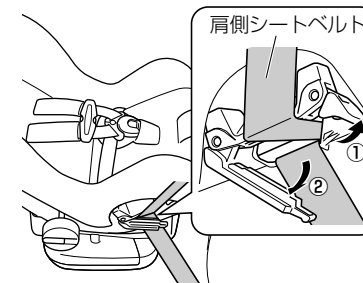
- 8 チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認する。（目安：動きが3cm以内）



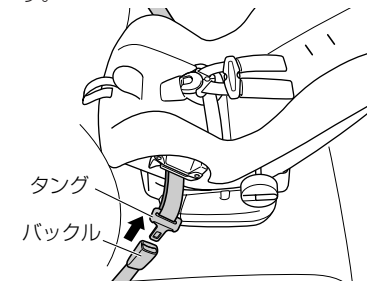
- 大きく動く場合は「チャイルドシートの固定」（17ページ）からやり直してください。
- ベルトクランプは、強い衝撃が加わると、レバーが外れシートベルトが解放されるような構造になっています。

チャイルドシートの取り外し

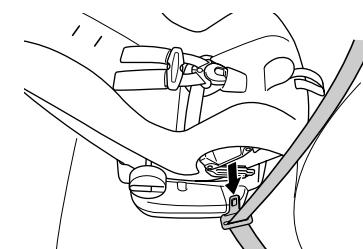
- 1 ベルトクランプのレバーを外し、シートベルトを外す。



- 2 シートベルトのタングをバックルから外す。



- 3 ベルト通し口からシートベルトを引き出す。



- 4 ベルトクランプのレバーをロックする。

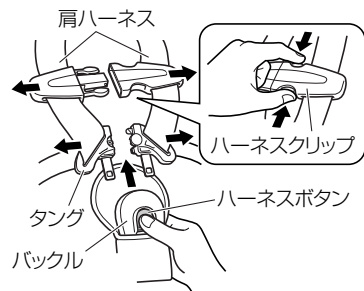
お子さまの座らせ方

- 1 アジャスターレバーを引き上げながら、肩ハーネスを引き出す。



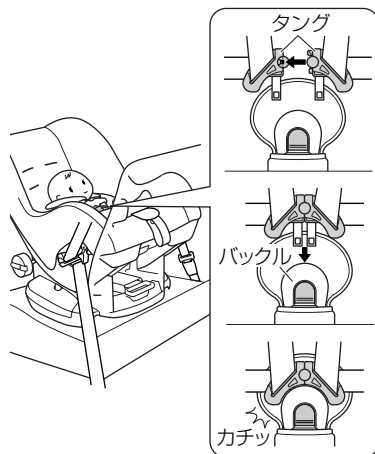
アドバイス 肩ハーネスを引き出す際には、肩ハーネスカバーではなく、肩ハーネスを引っ張り、引き出してください。肩ハーネスカバーを引っ張っても、引き出せない場合があります。

- 2 ハーネスボタンを押してバックルからタングを外し、ハーネスクリップを外して肩ハーネスを左右に広げる。



- 3 お子さまをシートクッションの上に深く座らせる。

- 4 肩ハーネスをお子さまの肩にかける。左右のタングを確実にくっつけ合わせ、合わせたタングをまっすぐ挿入し、「カチッ」と音がするまで差し込む。



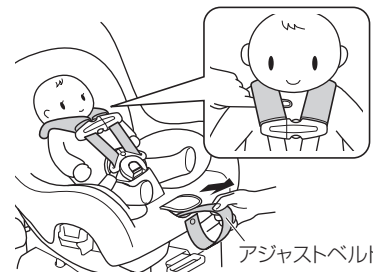
アドバイス タングを引っ張り、タングとバックルが正しく結合されているか確認してください。

警告 左右のタングを別々に差し込んだり、タングを斜めに差し込んだりしないでください。タングがバックルに正しく結合されていないと、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な障害を受けるおそれがあります。

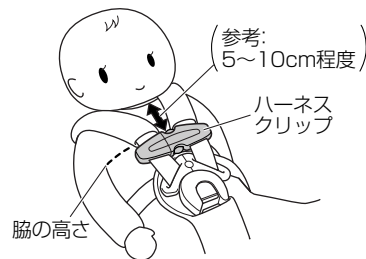
- 5 ハーネスクリップをはめる。

アドバイス ハーネスクリップの左右を引っ張り、正しく結合されているか確認してください。

- 6 アジャストベルトを引き、お子さまの鎖骨と肩ハーネスに指一本が入る程度まで、肩ハーネスのたるみを取る。



- 7 ハーネスクリップを、お子さまの脇の高さ位置にする。



警告 ハーネスに緩みやねじれがないようにしてください。ハーネスとお子さまの間に余分な隙間があると、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な障害を受けるおそれがあります。



幼児用としてご使用する場合

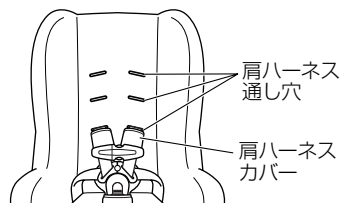
チャイルドシートを前向き（体重9～18kg未満のお子さま）で使用する際の取り付け、取り外しの方法を示しています。

取り付け前の準備

※工場出荷時は乳児用に設定されています。

肩ハーネス高さ および カバーの確認

お子さまの肩の位置に合わせ、肩ハーネス通し穴の位置を調整し、肩ハーネスカバーを使用する必要があります。

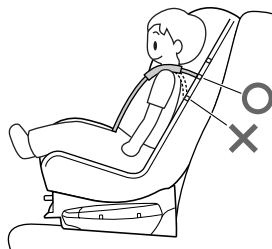


- 肩ハーネス通し穴の位置を確認する時は、チャイルドシートを正しい取り付け角度にし、お子さまを座らせた状態で行ってください。
- お子さまの座らせ方につきましては、「お子さまの座らせ方」（29ページ）をご参照ください。

肩ハーネス通し穴の位置が合っていない場合、また正しい肩ハーネスカバーが取り付けしていない場合は、「肩ハーネスの高さ調整・肩ハーネスカバーの交換」（23ページ）をご参照し、正しく調整してください。

肩ハーネス高さ

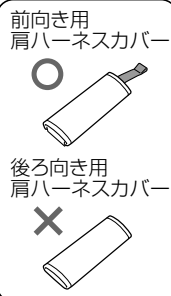
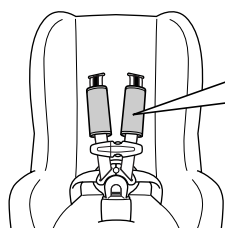
肩ハーネス通し穴がお子さまの肩より高い位置。



警告 肩ハーネス高さは必ず正しい位置で使ってください。不適切な位置で使用すると、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

肩ハーネスカバー

前向き用肩ハーネスカバーが付いていることを確認する。



警告 正しい肩ハーネスカバーを使用しないと、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

取り付け前の準備

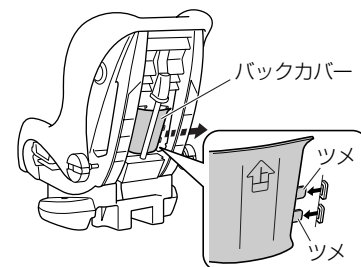
肩ハーネスの高さ調整・肩ハーネスカバーの交換

- 1 アジャスターレバーを引き上げながら、肩ハーネスをすべて引き出す。

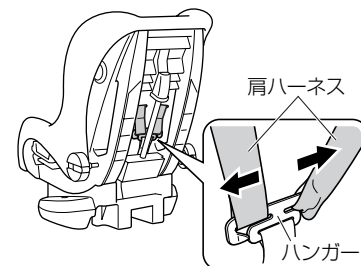


肩ハーネスを引き出す際には、肩ハーネスカバーではなく、肩ハーネスを引っ張り、引き出してください。肩ハーネスカバーを引っ張っても、引き出せない場合があります。

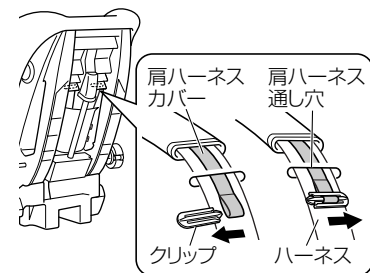
- 2 チャイルドシート背面のバックカバーを取り外す。



- 3 肩ハーネスをハンガーから外す。



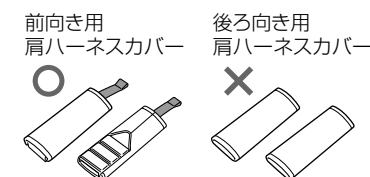
＜前向き用カバーを使用している場合のみ＞
肩ハーネスカバーを固定しているクリップを外す。



- 4 肩ハーネス通し穴から肩ハーネスを抜き取る。



- 5 肩ハーネスに前向き用肩ハーネスカバーを取り付ける。



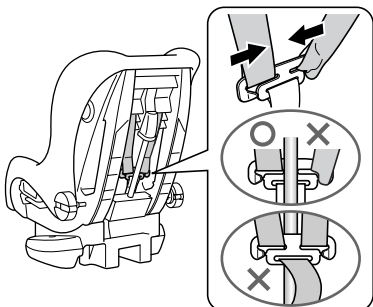
取り付け前の準備

肩ハーネスの高さ調整・肩ハーネスカバーの交換

- 6 肩ハーネスを適切なハーネス穴に差し込む。



- 7 肩ハーネスをハンガーに取り付ける。

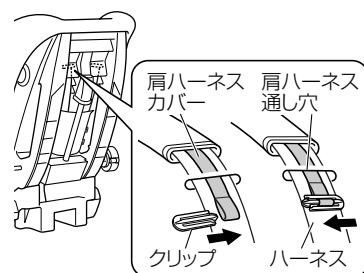


- 肩ハーネスがねじれていないことを確認してください。
- 肩ハーネスをハンガーに正しく取り付けられないと、衝突時にハーネスが抜け、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シャフトの手前側で肩ハーネスをハンガーに取り付けしないでください。



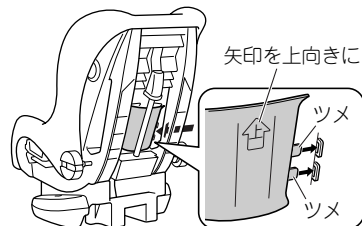
直射日光が当たって、シャフトやハンガーが熱くなることがあります。やけどのおそれがありますので、ご使用時には、十分注意してください。

- 8 肩ハーネスカバーのみをクリップで固定する。



クリップでハーネスを固定すると肩ハーネスの長さの調整が行えなくなり、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

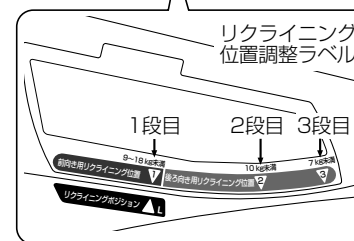
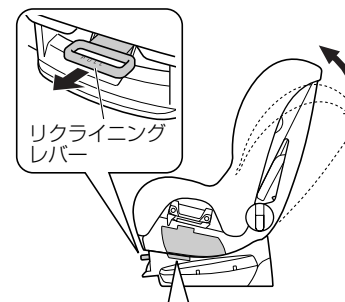
- 9 バックカバーを取り付ける。



バックカバーのツメが本体に確実に固定されていないと、取り付けの向きが正しくないと、事故時に十分な機能を発揮しないおそれがあります。

お車のシートにチャイルドシートを乗せる

- 1 リクライニングレバーを引きながら、リクライニング位置を前向き用(1段目)にセットする。

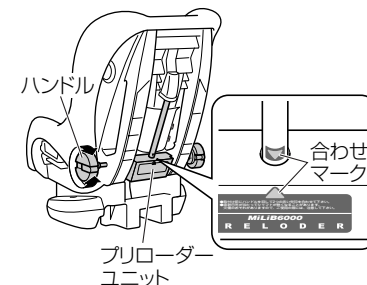


リクライニングレバーが戻らない場合はリクライニング位置に正しくセットされていない状態です。チャイルドシートを軽く前後に動かし、リクライニングレバーがロックされていることを確認してください。



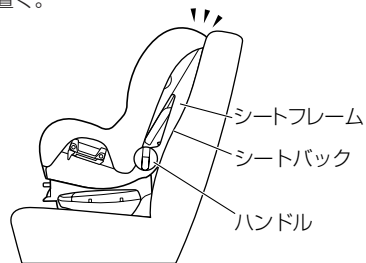
- リクライニング位置がロックされていないと、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 後ろ向き用リクライニング位置(2、3段目)で使用すると、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 2 プリローダーユニットのカバーとシャフトにある▲マークを、ハンドルを回して合わせる。



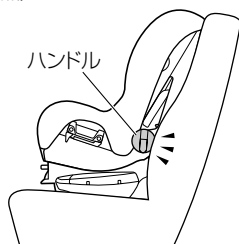
お車のシートにチャイルドシートを乗せる

- 3 チャイルドシートの背面がお車のシートバックに当たるようにチャイルドシートを置く。

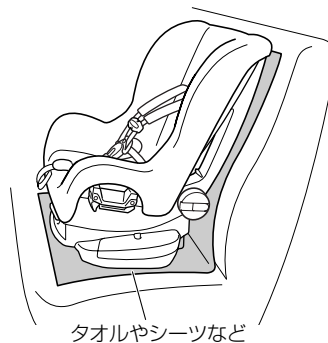


警告 チャイルドシート背面がお車のシートバックに当たっていないと、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 注意** ハンドルがシートに当たる場合は、ハンドルを付属のキャップに交換してください。(35 ページ「付属品の取り扱い」参照)



- お車のシートを損傷させないように、チャイルドシートの下にタオルやシーツなどを敷くことをお勧めします。

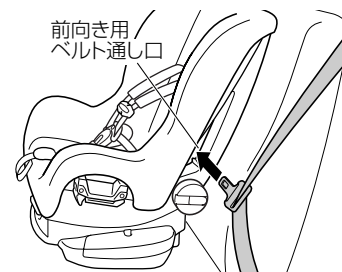


チャイルドシートの固定

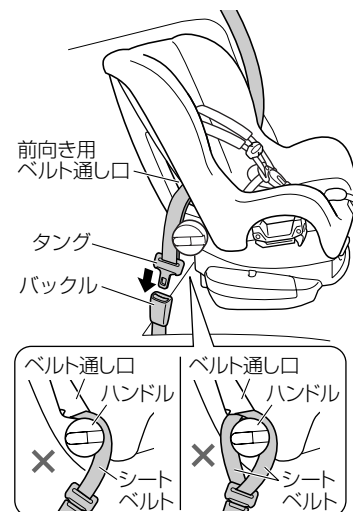


チャイルドシートを固定するシートベルトは、緩みやねじれのないようにしてください。チャイルドシートにガタツキが生じ、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 1 シートベルトを前向き用ベルト通し口に通す。



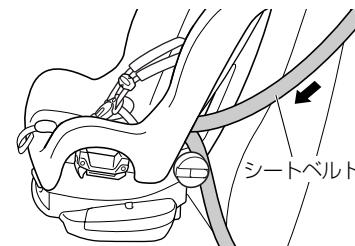
- 2 反対側の前向き用ベルト通し口からシートベルトを引き出し、タングをバックルに差し込む。シートベルトは必ずハンドルの後ろ側を通してください。



●ベルト通し口以外にシートベルトを通さないでください。他の個所を使用すると、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。
●シートベルトはハンドルの後ろ側を通してください。前側を通したり、両側に通すと、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。
●シートベルトをハンドルの両側に通すと、シートベルトが取り外せなくなる可能性があります。

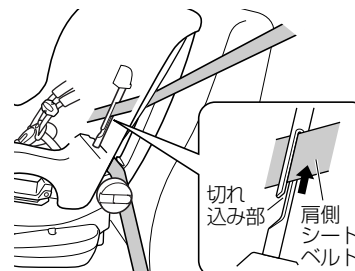
＜ALR 機能が付いたお車の場合＞

シートベルトを全量引き出し、チャイルドシート固定機能 (ALR機能) に切り替える。



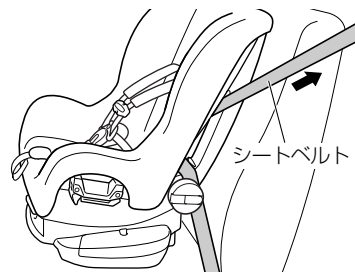
チャイルドシート固定機能 (ALR 機能) の詳しい取り扱いについてはお車の取扱説明書をご参照ください。

- 3 シャフトの切れ込みに肩側シートベルトを通す。



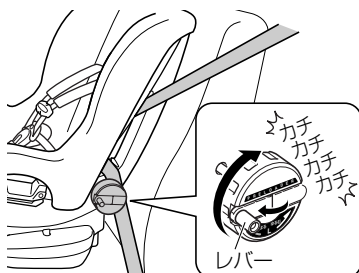
チャイルドシートの固定

- 4 肩側シートベルトをシャフトから外れないように強く引く。

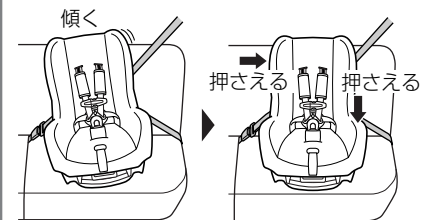


注意 直射日光が当たってシャフトが熱くなることがあります。火傷のおそれがありますので、ご使用時には、十分注意してください。

- 5 ハンドルのレバーを起こし、“しまる”方向に回す。空回りしながら「カチカチカチカチ」と4回以上音がするまで回す。



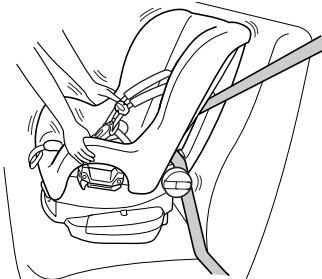
アドバイス チャイルドシート固定作業中に傾きが発生した場合は、傾きを修正してチャイルドシートがまっすぐになるように取り付けてください。



アドバイス チャイルドシートを長時間取り付けることにより、シャフトに巻きつけたシートベルトに痕がのこることがあります。

- 6 ハンドルレバーを元に戻す。

- 7 チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認する。(目安：動きが3cm以内)



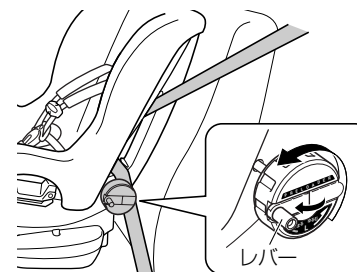
アドバイス

- 大きく動く場合は「チャイルドシートの固定」(27ページ)からやり直してください。
- 取付後、経時変化(なじみ)によりシートベルトの張りがゆるんだような感じが発生する場合がありますが性能上、機能上の異常ではありません。そのままご使用ください。

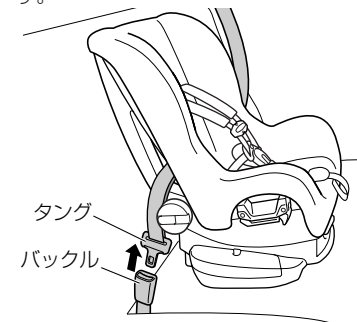
チャイルドシートの取り外し

警告 シートベルトを取り外す場合は、始めにハンドルをゆるめ、シャフトからシートベルトを外してください。手順が正しくないと、シートベルトが取り外せなくなる可能性があります。(ALR使用時)

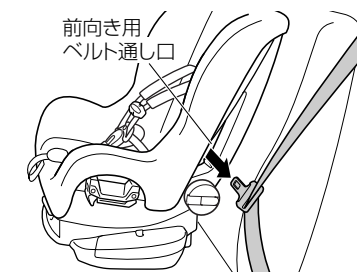
- 1 ハンドルのレバーを起こし、“ゆるむ”方向に回し、シャフトからシートベルトを外す。



- 2 シートベルトのタングをバックルから外す。



- 3 ベルト通し口からシートベルトを引き出す。



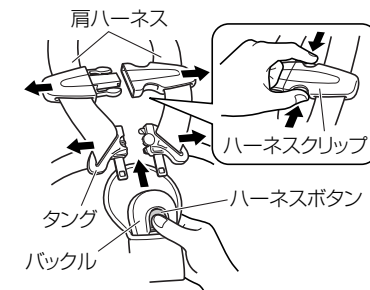
お子さまの座らせ方

- 1 アジャスターレバーを引き上げながら、肩ハーネスを引き出す。



アドバイス 肩ハーネスを引き出す際には、肩ハーネスカバーではなく、肩ハーネスを引っ張り、引き出してください。肩ハーネスカバーを引っ張っても、引き出せない場合があります。

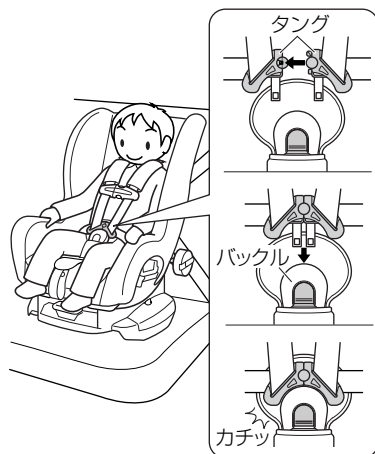
- 2 ハーネスボタンを押してバックルからタングを外し、ハーネスクリップを外して肩ハーネスを左右に広げる。



- 3 お子さまをシートクッションの上に深く座らせる。

お子さまの座らせ方

- 4 肩ハーネスをお子さまの肩にかける。
左右のタングを確実にくっつけ合わせ、
合わせたタングをまっすぐ挿入し、「カチッ」
と音がするまで差し込む。



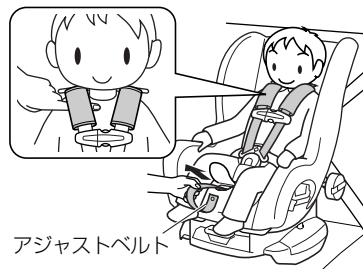
 タングを引っ張り、タングとバックルが
正しく結合されているか確認してくださ
い。

 警告
左右のタングを別々に差し込んだり、タン
グを斜めに差し込んだりしないでくだ
さい。
タングがバックルに正しく結合されてい
ないと、衝突時や急ブレーキ時などに、お
子さまがチャイルドシートから飛び出し、重
大な障害を受けるおそれがあります。

- 5 ハーネスクリップをはめる。

 ハーネスクリップの左右を引っ張り、正し
く結合されているか確認してください。

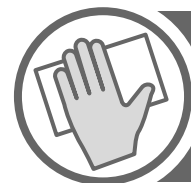
- 6 アジャストベルトを引き、お子さまの鎖骨
と肩ハーネスに指一本が入る程度まで、肩
ハーネスのたるみを取る。



- 7 ハーネスクリップを、お子さまの脇の高さ
位置にする。



 警告
ハーネスに緩みやねじれがないようにし
てください。ハーネスとお子さまの間に
余分な隙間があると、衝突時や急ブレー
キ時などに、お子さまがチャイルドシー
トから飛び出し、重大な障害を受けるお
それがあります。



お手入れのしかた

チャイルドシートの衛生確保と末永くご使用いただくために、
定期的なお手入れをお勧めします。

シートカバー類の取り外し／取り付け

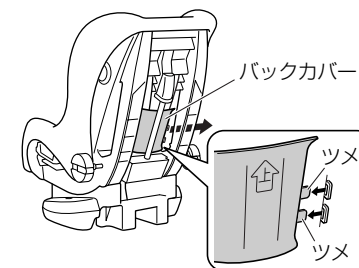
取り外し

- 1 アジャスターレバーを引き上げながら、肩
ハーネスを引き出す。

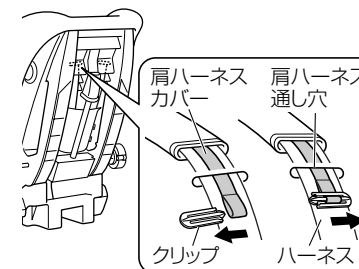


 肩ハーネスを引き出す際には、肩ハーネス
カバーではなく、肩ハーネスを引っ張り、
引き出してください。
肩ハーネスカバーを引っ張っても、引き出
せない場合があります。

- 2 バックカバーを本体から取り外し、肩ハー
ネスカバーを固定しているクリップを外
す。



〈前向き用カバーを使用している場合のみ〉

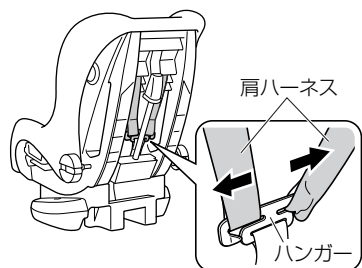


次ページへ続く

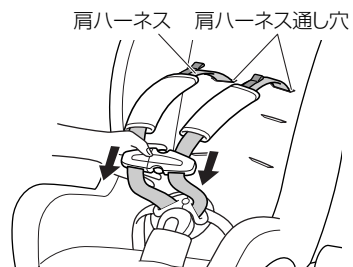
シートカバー類の取り外し／取り付け

取り外し

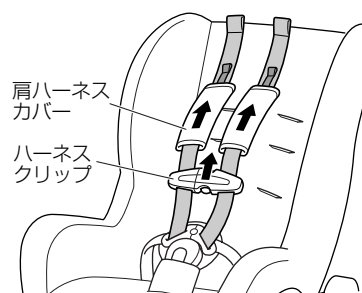
- 3 肩ハーネスをハンガーから外す。



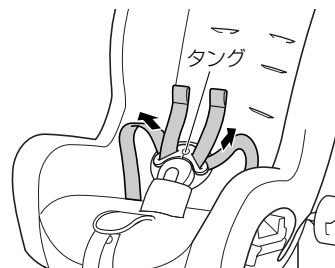
- 4 肩ハーネス通し穴から肩ハーネスを引き抜く。



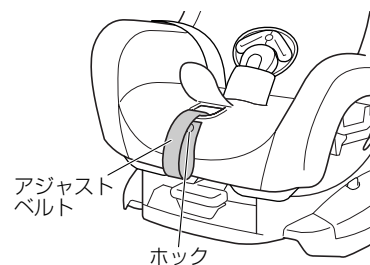
- 5 肩ハーネスから、肩ハーネスカバー、ハーネスクリップの順で抜き取る。



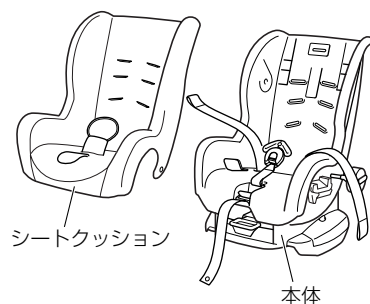
- 6 タングから肩ハーネスを抜き取る。



- 7 アジャストベルト端末のホックを外す。



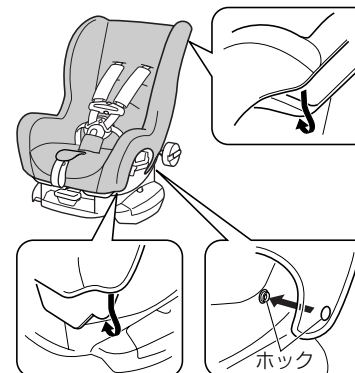
- 8 本体からシートクッションを取り外す。



取り付け

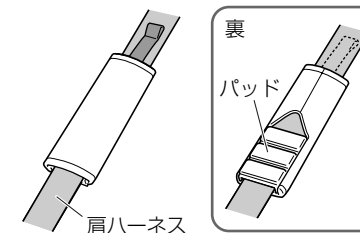
「取り外し」と逆の手順で、各カバー類を取り付ける。

シートクッションは本体の形状に合わせてかぶせ、ホックで固定します。



- 警告**
- クッションがズレていたり、本体から浮いていないことを確認してください。事故時に十分な性能を発揮しないおそれがあります。
 - ホックが確実に固定されていることを確認してください。事故時に十分な性能を発揮しないおそれがあります。
 - 専用クッション以外は使用しないでください。事故時に十分な性能を発揮しないおそれがあります。

- 注意**
- 前向き用肩ハーネスカバーを肩ハーネスに通すときの方向に注意してください。
 - 前向き用ハーネスには、裏面に凸凹のパッドが付いています。

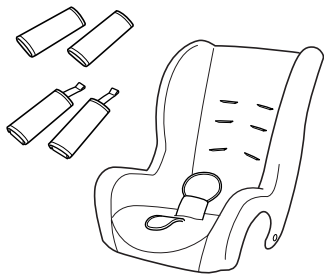


- 警告**
- 肩ハーネスがねじれていないことを確認してください。ねじれていると、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。
 - 専用カバー以外は使用しないでください。事故時に十分な性能を発揮しないおそれがあります。
 - カバー類は必ず取り付けで使用してください。取り付けないと金属部分や樹脂部分が、日光が当たることで熱くなり、やけどをするおそれがあります。

各部のお手入れ

シートカバー類

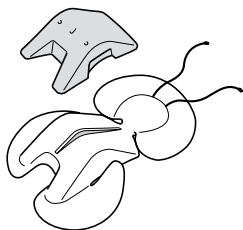
シートカバー類が汚れた場合は、本体から取り外し、中性洗剤を使用して手で押し洗いをしてください。



注意 洗濯後は、完全に乾燥させてからご使用ください。

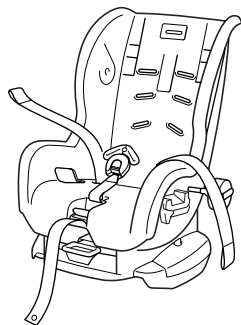
インナークッション

インナークッションが汚れた場合は、内部のウレタンを取り外し、中性洗剤を使用して手で押し洗いをしてください。



本体

シートフレームなどのプラスチック部が汚れた場合は、柔らかい布で乾拭きまたは水拭きをしてください。



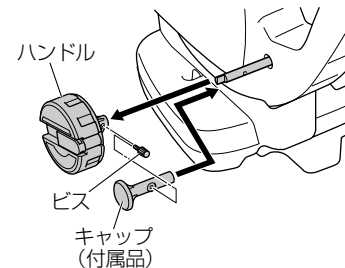
注意

- 洗剤類を使用しないでください。変色等の恐れがあります。
- 水拭き後は、完全に乾燥させてからご使用ください。

付属品の取り扱い

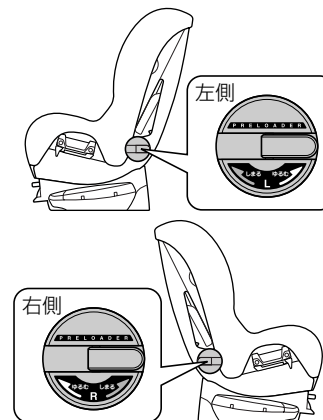
キャップ

プリローダーユニットのハンドルは、取り外して保管しておくことができます。取り外した場合は、付属のキャップを取り付けておきます。



警告 ハンドルを外したままにしておかないでください。突き出したシャフトにより、思わぬ傷害を受ける場合があります。

注意 ハンドルは、左右が決まっています。ハンドルの表示を確認して取り付けてください。



注意 ハンドルを取り付けるときは、必ず専用ビスで位置を合わせ、固定してください。固定されないままハンドルを使用すると、十分な機能を発揮しない恐れがあります。

警告 ハンドルを左右間違えて取り付けした場合、チャイルドシートが固定できず、事故時に重大な傷害を受ける場合があります。



保 証

チャイルドシートが破損した場合の対応、保証に関する規定を示しています。

お問い合わせの前に、必ずお読みください。

補修部品について

お買い上げの販売店、もしくはお客様相談室（☎ 0120-70-5441）までご連絡ください。
お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、チャイルドシート背面に貼っているラベルの品番を必ずお伝えください。もし、背面ラベルが無い場合には、側面に貼ってある型式ラベルに記載されている型式ナンバーをお伝えください。

